WinSCP による遠隔ファイル交換

伊東栄典*

本稿では，WinSCP を用いて情報基盤センター教育用システムのホスト計算機と，自分の手元にあるマイクロソフト社の Windows を搭載したパーソナルコンピュータ (以下 PC と略記) との間で，ファイルを交換する方法について説明します。なお，自分の手元にある PC を「手元の PC」，遠隔地にあるホスト計算機を単に「ホスト計算機」と呼びます。

1　安全なファイル交換

従来，遠隔地の計算機間でのファイル交換には，多くの場合 FTP(File Transfer Protocol) を用いていました。しかし，FTP には通信を暗号化する機能が無いため，パスワードや，交換するデータの安全性を確保することができません。

近年，SSH(Secure Shell) と呼ばれるソフトウェアが開発されました。SSH では通信データを暗号化するため，遠隔接続 (ログイン) や，遠隔地からのファイル交換を安全に行なう事が可能です。本稿で紹介する WinSCP は，Martin Prikryl 氏が開発したソフトウェアで，内部に SSH の機能を備えており，マウス操作でファイル交換を行なう事ができます。

2　WinSCP の入手

WinSCP は，製作者である Martin Prikryl 氏の Web サイト (`http://winscp.vse.cz/eng/`) から入手可能です。2002 年 2 月 10 日現在の最新版は，“WinSCP 2.0 beta” です。前述のサイトから，Download のリンクをクリックすれば，ソフトウェアの入手は可能です。下記の URL を直接入力しても良いでしょう。

`http://winscp.vse.cz/download2.php?file=WinSCP2.exe`

*情報基盤センター研究部　　E-mail : itou@cc.kyushu-u.ac.jp

3　WinSCP によるファイル交換

前節で示した URL から，WinSCP2.exe を入手します。このファイルをデスクトップに置いた場合のアイコンと，それを起動した直後のウィンドウを図 1 に示します。

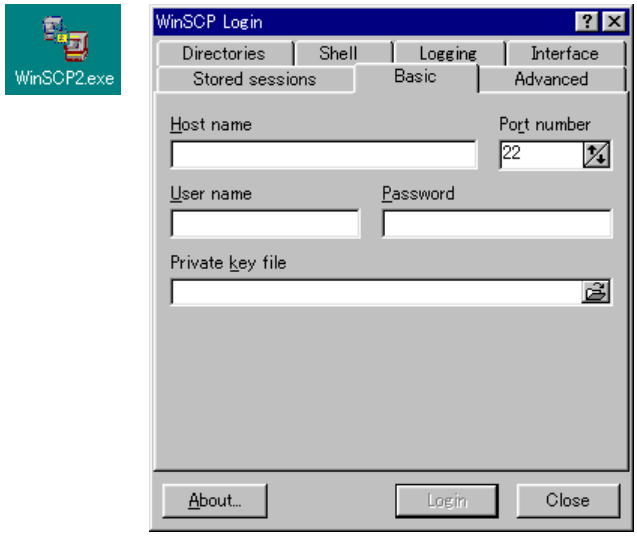

図 1: WinSCP のアイコンと起動画面

WinSCP2 では，画面の見た目 (使い方) を二通り選べます。選択は [Interface] タブの中で行なえます。図 2 に Interface の選択画面を示します。Windows でファイルを扱う際に標準的に使うソフトはエクスプローラーですが，[Explorer-like] を選ぶとエクスプローラーと類似した感覚でファイル操作を行なう事が出来ます。本稿では，[Explorer-like] を選択したものとして，以降の説明を行ないます。

図 2: インターフェイスの変更

[Basic] タブをクリックし，ログイン画面に戻ります。ログインの際の入力情報を図 3 に示します。[Host name] には，接続先計算機の名前を [User name] にはホスト計算機で使うユーザ ID を入力します。ここでは「ホスト計算機」として教育用システ

ムを想定していますので，[Host name] の欄には ah.cse.ec.kyushu-u.ac.jp を入力します。[User name] の欄と [Password] の欄には，それぞれ教育用システムのユーザ ID とパスワードを入力します。最後に [Login] ボタンを押します。

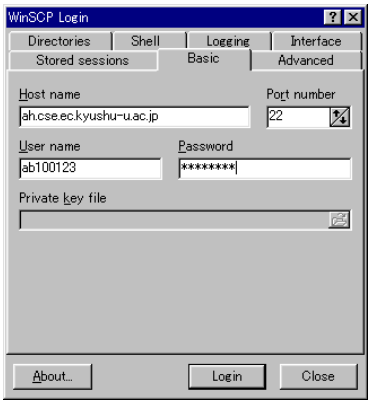

図 3: ログイン画面

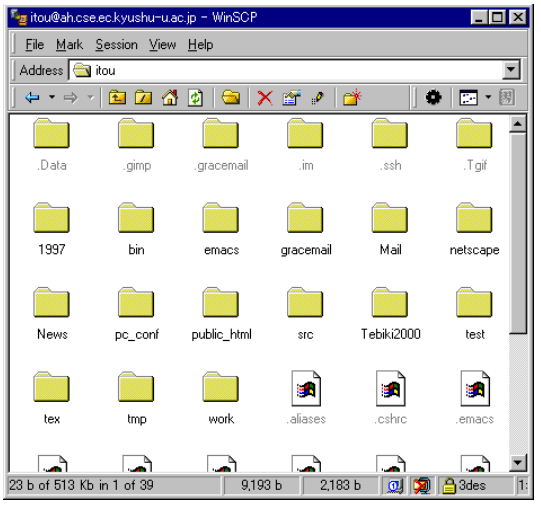

図 4: 接続画面

4　ファイルの交換

実際に，手元の PC とネットワークで接続した遠隔地のホスト計算機との間でファイルの交換 (やり取り) を行なう方法について説明します。ファイルの交換は簡単です。普通のエクスプローラーでのファイル操作と同じ方法で，ファイルを交換する事ができます。

注意

情報基盤センターの教育用システム (ホスト計算機) では，ファイル名が日本語のファイルを上手に扱えません。ファイル名に日本語を使ったファイルは転送しないようにして下さい。

■ 手元の PC からホスト計算機への転送

図 5 に，手元の PC から遠隔地のホスト計算機へファイルを転送する様子を示します。Windows 上でファイルをコピーする場合と同様の操作で，ファイルの転送を行なう事が出来ます。例えば，手元の PC から遠隔地のホスト計算機へファイルを転送

する場合，エクスプローラーから WinSCP のウィンドウへファイルのアイコンをドラッグ&ドロップ操作すると，遠隔地のホスト計算機へファイルが転送されます。その際，エクスプローラー間でのコピーと異なり，本当にコピーをするかどうかの確認 (図 6) が表示されます。ここで [Copy] ボタンを押すと，ファイルが転送されます。

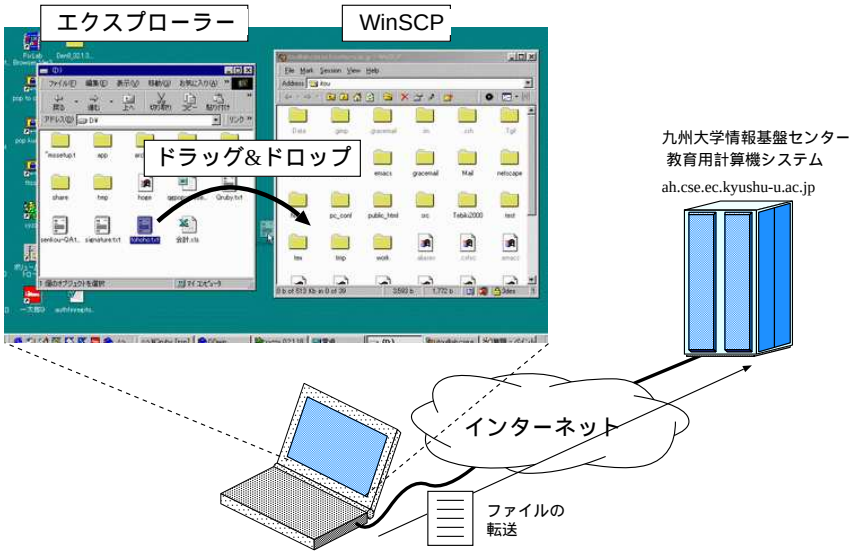

図 5: 手元から遠隔地の計算機へのファイル転送

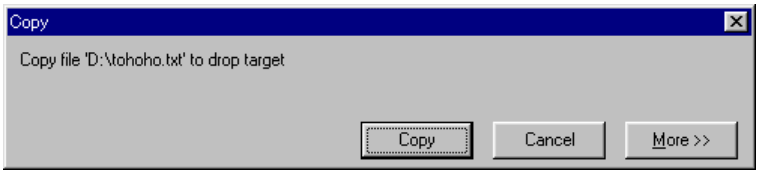

図 6: Copy の確認

■ 遠隔地のホスト計算機から手元の PC への転送

遠隔地のホスト計算機から手元の PC への，ファイル転送も同様に行なうことが出来ます。図 7 にその様子を示します。WinSCP のウィンドウから，ファイルのアイコンをドラッグ&ドロップ操作すると，遠隔地のホスト計算機のファイルが，手元の PC に転送されます。実際の転送開始前に，本当にコピーするかどうかの確認ウィンドウが表示されます。そこで [Copy] ボタンを押すと，実際に転送が実行されます。

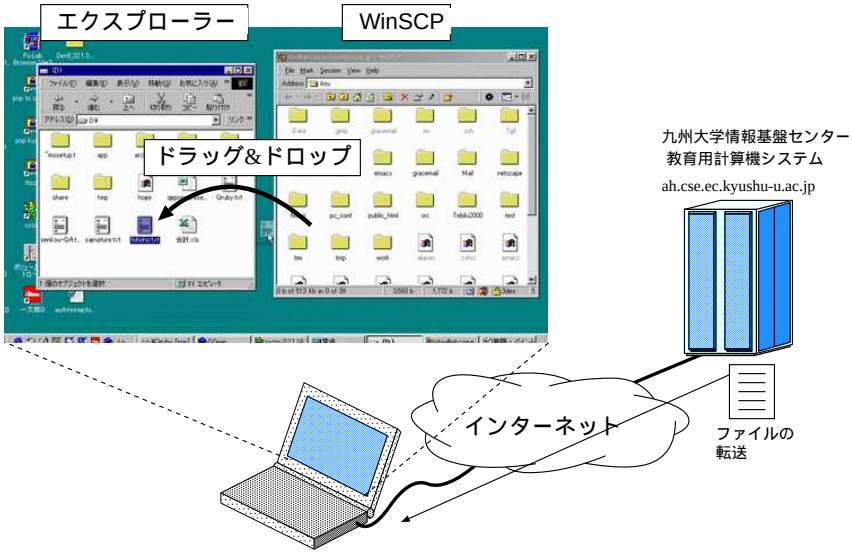

図 7: 遠隔地のホスト計算機から手元の PC へのファイル転送 (1)

他に，以下の操作でもファイルの転送を行なうことが出来ます。

- WinSCP のウィンドウで，手元に転送したいファイルのアイコンを右クリックし，[Copy] メニューを選択。
- 表示される [Copy] ウィンドウに，手元の計算機のフォルダ名とファイル名指定をする。[Copy] ボタンを押せば実際にコピーされる。

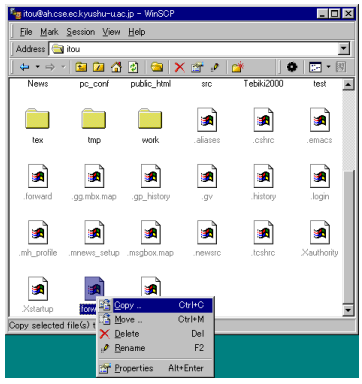

図 8: 遠隔地のホスト計算機から手元の PC へのファイル転送 (2)

5　その他の操作

ファイルの転送 (copy) の他の操作としては，以下の操作が可能です。

- Delete (削除)
- Rename (名前の変更)
- Move (移動)

それぞれ，WinSCP のアイコンや，WinSCP の [File] メニューから選択可能です。

6　Winscp の終了方法

WinSCP の利用を終える場合，図 8 の様に，[ファイル] メニューから [Disconnect] を選択します。遠隔地のホスト計算機との接続が切れ，WinSCP も終了します。

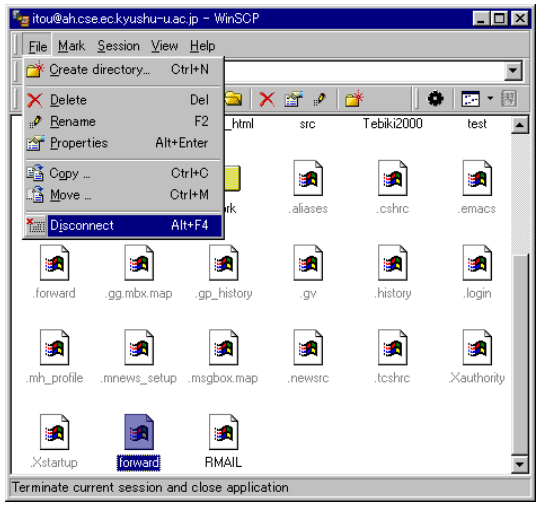

図 9: Winscp の終了

7　おわりに

遠隔地の計算機と自分の手元の計算機との間で，ファイルを交換する方法について紹介しました。卒業や進学などで，大学のホスト計算機の中に在るファイルを，自分の PC に保存しておきたい場合などに利用して下さい。